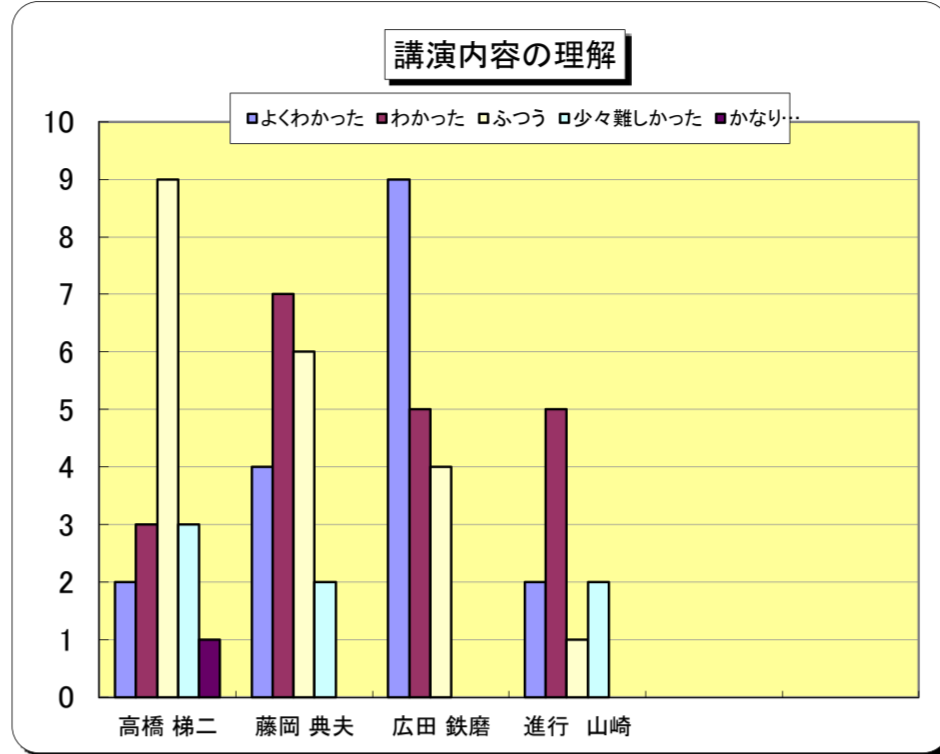


食のリスクコミュニケーション・フォーラム2015(4回シリーズ)
 第1回テーマ:「国際的視野におけるリスコミのあり方」
 2015年4月26日(日)13:00~18:00
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島董一郎記念ホール

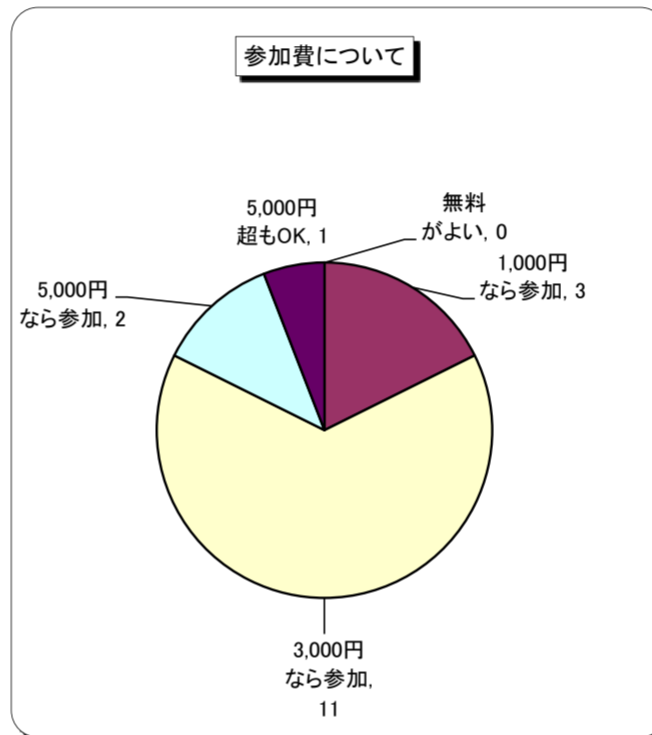


アンケート回収数19枚(参加者:36名、演者4名を除いた回収率:59%)

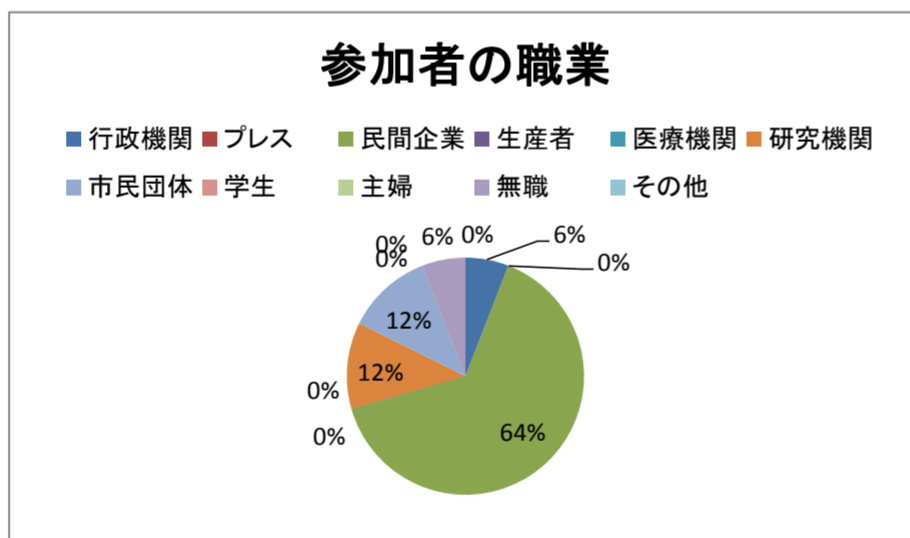
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	グローバル化における日本の食品安全	高橋 梯二	2	3	9	3	1
2	食品安全における「適切な保護の水準」の政策的意義	藤岡 典夫	4	7	6	2	0
3	フードディフェンス上のリスクがなぜ極大化して伝えられるのか	広田 鉄磨	9	5	4	0	0
4	パネル・ディスカッション:『食の安全・安心の最適化にリスコミは有効か』	進行 山崎	2	5	1	2	0
5			0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどうお考えですか?	0	3	11	2	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメルアドをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	1
プレス	0
民間企業	11
生産者	0
医療機関	0
研究機関	2
市民団体	2
学生	0
主婦	0
無職	1
その他	0



各講演やフォーラム/SFSSへのご意見・コメント:

No.	コメント	講師
1	グローバル化における日本の食品安全	高橋 梯二
1	0	
2	0	
3	0	
4	0	
5	0	
6	世界の比較の視点から、たいへん興味深いお話でした。	
7	このような比較整理論は社内でも役立つ。	
8	日本との比較対象としてアメリカ・EUがあげられていたのは何故だろうかと感じた。日本として何を指しているのかということに仕組み(制度)の改変があるのではないかと。	
9	0	
10	0	
11	答えのない話題が多くとても勉強になりました。日本のトレーサビリティはもう少しと思います。	
12	0	
13	0	
14	スライドも資料も字が小さくて、コントラストも弱くて、はっきりしなくて見つらかった。話の内容もむずかしかった。	
15	0	
16	0	
17	「日本が遅れている」ことの根拠をもう少し具体的に示してほしい。	
18	0	
19	話の内容はよく伝わったのですが「今後どうしていくべきか？」で悩んでしまい左記の点になりました。	

No.	コメント	講師
2	食品安全における「適切な保護の水準」の政策的意義	藤岡 典夫
1	0	
2	許容されるレベル、その合意形成についてどうするかは興味ある課題と思っています。	
3	0	
4	質疑応答でよく整理され、わかりやすくなった。	
5	食の安全の基本的理解を基に、対お客様へのコミュニケーションをとる必要があることがよく理解できました。	
6	明瞭な内容であり、たいへん参考になりました。	
7	丁寧に考えるべきテーマを取り上げていただきました。	
8	社会的合意をどのようにして得ていくのが課題の1つだと感じました。	

9	0	
10	非科学的な社会経済的要素とは社会科学を科学的と見ていないからか。	
11	基準が信用されない世間になってはいけないと思いました。	
12	0	
13	0	
14	ゼロリスクはありえない、でも安心するための合意ってとてもむずかしいのではと思いました。	
15	0	
16	0	
17	法律・ルール観点から問題整理をしていただき分かりやすかった。	
18	0	
19	日本は中～小の規模の企業が食卓を支えています。その点をどう加味していくかが問題かと思えます。	

3	フードディフェンス上のリスクがなぜ極大化して伝えられるのか	広田 鉄磨
1	是非続きのお話をうかがいたいです。	
2	0	
3	0	
4	0	
5	モニタリング≠レコーディングの違いがよくわかりました。	
6	示唆に満ちていて、たいへん興味深く参考になりました。	
7	自社の状況を踏まえ、もう一度自ら考察する機会と致します。	
8	監視カメラ(犯罪防止)として録画カメラの意味はないということが印象的でした。フードディフェンスとして何を本当に防ぐべきなのか、それを防ぐための対策として意味のあることができるのか考えなければいけないと感じました。	
9	0	
10	何を言いたいかわかりません。	
11	カメラ＝監視と考えがちの部分が多く、誤った納得がされがちと思いました。	
12	0	
13	0	
14	とてもわかりやすいおはなしでした。食の安全を守るためには人手やコストがかかるんですね。	
15	0	
16	0	
17	テロと意図的混入の違いが良くわかりました。	
18	0	
19	非常に分かりやすいご説明で先生のお考えも伝わってきました。2部が非常に楽しみになりました。	

4	パネル・ディスカッション:『食の安全・安心の最適化にリスコミは有効か』	進行 山崎
1	0	
2	いろいろな視点から考えが聞けてためになった。	
3	0	
4	0	
5	0	
6	0	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	Q&Aになると高橋先生のお話わかりやすく感じました。すみません。途中までしか参加できませんので、ご容赦ください。	
15	0	
16	0	
17	参加できません	
18	0	
19	0	

7	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	0	
2	初めてですが、とても興味深く聞きました。以降も参加したく思いました。	
3	0	
4	0	
5	ディスカッションが活発で理解が深まりました。また次回開催への期待もふくらみました。	
6	内容・規模的にも議論がよくできると感じました。	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	分かり易くて良かったです。	
12	0	
13	0	
14	0	
15	もっと深い内容かと思っていました。	
16	0	
17	0	
18	フードディフェンスは常日頃業務として行いながら疑問を感じていましたので非常に良かった。	
19	音声が届えにくい部分があった。⇒【SFSS山崎より】申し訳ございません。次回より改善したいと思います。	

8	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
1	0	
2	表示(アレルギー等のリスク、機能保証など)	
3	0	
4	0	
5	0	
6	食のリスクコミュニケーションの実践事例と課題(事例・汎用性はあるか)	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	「リスク」について改めて考えさせられました。ベックの「危険社会(リスク社会)」など古典的なものをベースに考える機会があれば参加したいです。	
13	0	
14	福島県の農林水産物が事故前の価格で購入してもらえるには何が必要か。福島は自分なりに一生けんめいやってるつもりなんです、外部にはなかなか伝わっていかないようで…。今までのリスコミはどうやら失敗だったといわれているようなのですが、それならば失敗をたまたまというか、改めるにはどうしたらいいのかわからない。	
15	今回議論になったどの程度のリスクなら受け入れられるか。	
16	0	
17	0	
18	0	
19	中小企業が現行の法令等に順守していくための課題	

9	当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？	
1	0	
2	食品のリスク低減を社会の受容レベルに適合させる仕組み・制度。安心への反対派は無理でも、大多数の疑問派の方での安全へのとりくみ理解促進。	
3	0	
4	0	
5	0	
6	具体的なリスクコミュニケーションと啓発活動(生活者へ向けて)	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	0	
15	0	
16	0	

17	0	
18	0	
19	基準づくり背景や根拠	